

団体名：ＪＡあまみ徳之島事業本部野菜部会　ＪＡあまみ天城事業本部園芸部会
代表者：福田明正（徳之島）　前川忠義（天城）
所在地：鹿児島県大島郡徳之島町亀津　鹿児島県大島郡天城町天城

〔ポイント〕

徳之島の主要農産物であるばれいしょは、島外の大消費地への出荷が中心であり、島内での活用は十分に図られていなかった。

そこで、平成１７年から生産者組織を中心に関係機関と連携し、給食施設や飲食業界を巻き込んで、地産地消の促進に向けて地域内での協働体制を確立した。

また、消費者ＰＲに向けた多彩な取組(ばれいしょ収穫祭、協賛飲食店での新じゃがフェア、料理コンクール、全島一斉ばれいしょ給食等)を実施し、県内外の多くの消費者に産地情報を発信することができた。

これらの取組を通じて、学校だけでなく、飲食店や病院等の施設でも島内のばれいしょが活用されるようになり、消費者の地場産野菜に対する関心が深まっている。

また、生産者が町を越えて飲食業界等を巻き込んで、地場産のばれいしょの活用促進に取り組んだことで、関係者の意識が変わり、島内流通を販売戦略として位置づけ、共販農産物(７品目)の島内流通体制整備にもつながった。

【活動内容】

１．徳之島ばれいしょは、２～３月に収穫される「赤土新ばれいしょ～春一番」、「春を告げる食材」として大都市圏に出荷されるが、産地でありながら島内の小売店や給食施設、飲食店等での活用は充分になされていなかった。

平成１７年園芸振興会（生産者、ＪＡ、行政等で組織）や農協女性部・生活研究グループの代表、関係機関・団体(農政担当及び商工会、観光協会等)、農業改良普及センターによる実行委員会を結成。消費者ＰＲ活動、新たな販売戦略としての島内流通体制を整備。ばれいしょをはじめ、共販品目まで含めた計７品目について島内流通体制を整備

２．ばれいしょの初出荷に合わせた「ばれいしょ収穫祭(新じゃがまつり)」、「飲食店でのフェア」、「赤土新ばれいしょ料理コンクール」、「島内一斉ばれいしょ給食(学校給食)」を企画・実施。

フェア期間中は、協賛店において新ばれいしょを使った料理を提供し、島内外の消費者に徳之島の新ばれいしょを味わってもらおう。

平成 17 年開始以降、協賛店、参加者（抽選応募者）ともに増加。

（平成 17 年：5 店舗　　平成 19 年：16 店舗）

３．学校給食への食材納入も進んでいる。従来は個々の農家で処分していた規格外農産物も、給食センターとの取引により有効に活用されている。

また、病院、福祉施設等や飲食店等に対する流通体制づくりにも取り組んでいる。